

家庭・学校・地域で育む子どもたちの未来

幡多地区PTA研究大会（四万十市大会）

令和7年11月30日（日）に四万十市立中村小学校にて「幡多地区PTA研究大会」が行われました。幡多地区の6市町村から110名の参加があり、表彰行事、家庭のルールづくりチェックシートの発表、PTA活動の発表、講演が行われました。様々なPTA活動を聞き、子どもたちの健全育成の課題となるSNSに関わる問題事例を知ること、子育てや児童生徒支援のアプローチを幡多地域でともに学んでいく機会となりました。

四万十市・宿毛市・土佐清水市のPTA活動の紹介

参加率95%が支える
「あうんの呼吸」の
PTA活動



西土佐中学校 PTA の取組

- 地域全体の結びつきの強さ
- ・保護者の多くが顔見知り
- ・学校、家庭、地域が一体となり子どもを育てる土壌
- 活動は動員ではなく自主的に
- ・スリム化した活動
- 負担感の軽減
- ・応援する活動への進化
- ポジティブな気持ちで学校へ
- つなぐ活動の意識
- ・持続可能な活動へ

活動を通じた保護者の
つながりの育成



宿毛小学校 PTA の取組

- 課題を洗い出し、改善策へとつなげる
- ・役員の固定化を防ぎ負担感を軽減
- 誰でも参加しやすく、誰でも役員になれる環境を今の役員が作る
- ・慣例的な行事の見直し
- 何のためかをはっきりさせ、目的を持った参加につなげる
- ・地域との連携、協働

全員で取り組む
「最後のPTA活動」



足摺岬小学校 PTA の取組

- 学校をみんなで支える
- 行事はもちろんプール清掃や愛校作業も子どもと一緒に取り組む
- 学校、家庭だけでなく地域との連携も重視
- 防災訓練、避難訓練も保小連携で地域を巻き込み実施
- 学校統合に伴い、これまでの取組の継承
- 地域とのつながりをこれから先もつないでいく

講演 「ネット社会と向き合って」

高知市少年補導センターの吉田智哉氏を講師に迎え、インターネットやSNSによるトラブルから子どもたちを守るための研修会を開催しました。

少年補導センターには、SNSでの誹謗中傷やなりすまし、不適切動画の投稿、オンラインゲーム内でのトラブルなど、情報モラルに関する相談が年間約15件寄せられているそうです。実際には、相談に至らないケースも含めると、さらに多くのトラブルがあると考えられます。

講演では、SNSで起こりやすい事例をもとに、問題となる行為やその影響について学びました。また、保護者や教員が子どもへの関わり方について意見交換を行い、多様な考え方に触れる機会となりました。

研修を通して、子どもたちを支えるためには、学校・家庭・地域が共通認識を持ち、大人自身が学び続けることの大切さを再確認しました。

『23日は読書の日♪♪』

4月23日は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」で、「子ども読書の日」と定められています。この日にちなんで、毎月23日には、家庭で子どもといっしょに本を読む時間をつくってみませんか。



小学生におすすめの本

- ①「大ピンチすかん3」
 - ②「りんごかもしれない」
 - ③「パンどろぼう」
 - ④「あるかしら書店」
 - ⑤「ドラゴン最強王図鑑」
- 「こどもの本総選挙」より引用
(上位5位)

